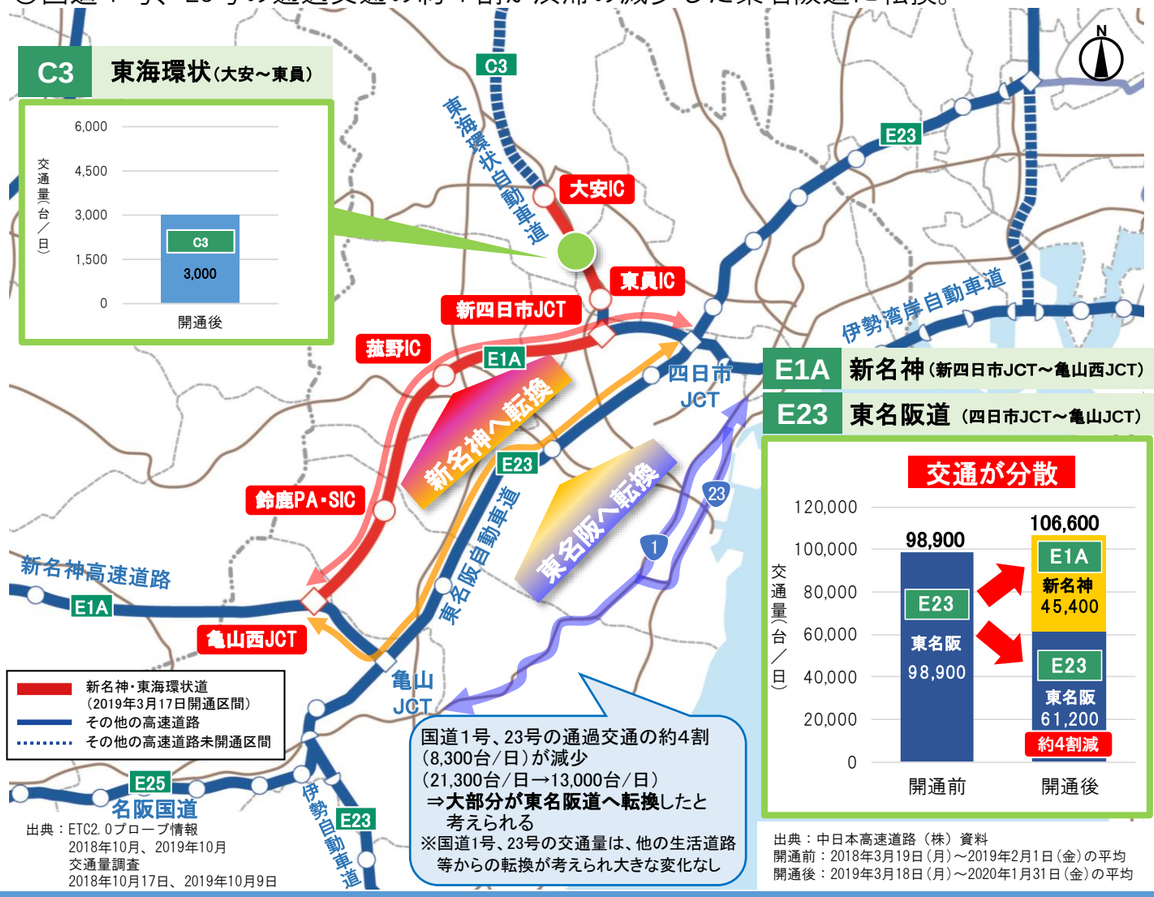
開通後の交通状況

交通の分散により渋滞減少！

ネットワークの充実と交通分散

○東名阪道と新名神に交通が分散し、東名阪道の交通量が約４割減少。
○国道１号、23号の通過交通の約４割が渋滞の減少した東名阪道に転換。

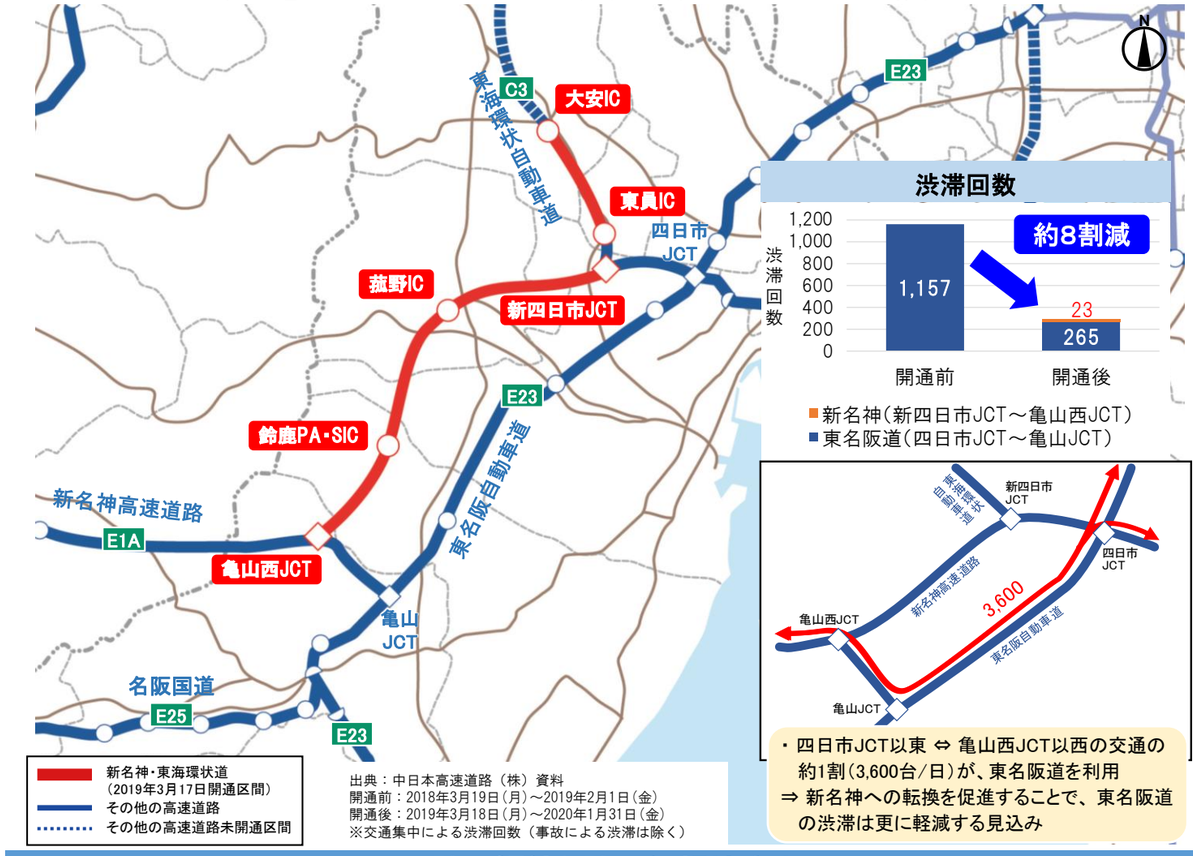


出典：ETC2.0プローブ情報
2018年10月、2019年10月
交通量調査
2018年10月17日、2019年10月9日

出典：中日本高速道路（株）資料
開通前：2018年3月19日（月）～2019年2月1日（金）の平均
開通後：2019年3月18日（月）～2020年1月31日（金）の平均

東名阪道の渋滞減少

○新名神への交通分散により東名阪道の渋滞が約８割減少。
○更なる新名神への転換により、東名阪に残る渋滞は軽減見込み。
（四日市JCT以東⇔亀山西JCT以西の移動は、新名神ルートの利用を推奨。）

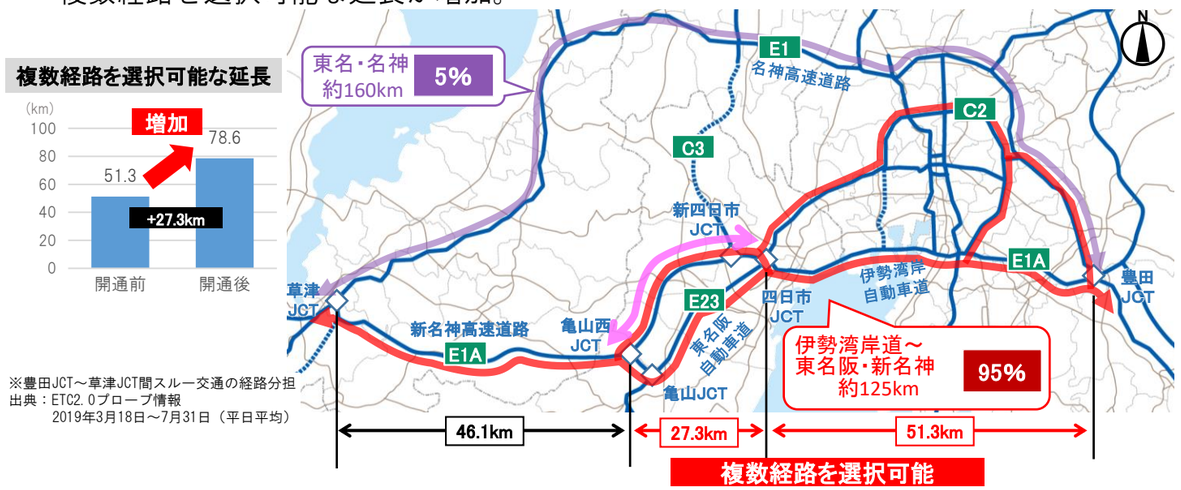


・四日市JCT以東 ⇔ 亀山西JCT以西の交通の約1割（3,600台／日）が、東名阪道を利用
⇒ 新名神への転換を促進することで、東名阪道の渋滞は更に軽減する見込み

出典：中日本高速道路（株）資料
開通前：2018年3月19日（月）～2019年2月1日（金）
開通後：2019年3月18日（月）～2020年1月31日（金）
※交通集中による渋滞回数（事故による渋滞は除く）

ダブルネットワーク区間が増加

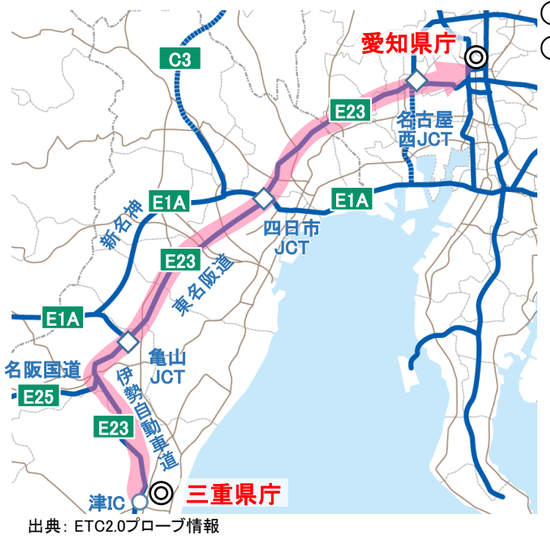
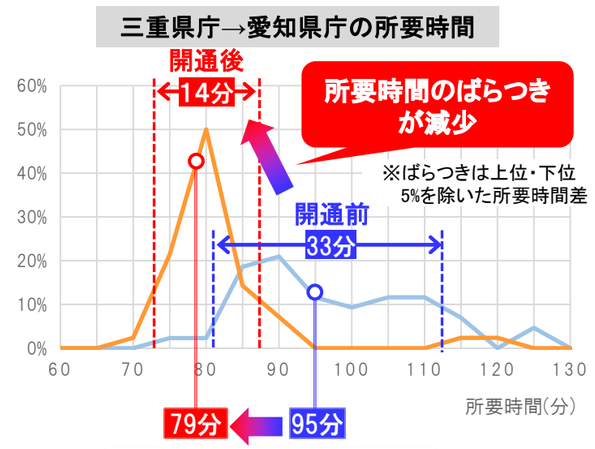
○豊田JCT～草津JCT間の交通の95%が伊勢湾岸道～東名阪道・新名神を経由。
○豊田JCT～亀山西JCT間は、新名神（新四日市JCT～亀山西JCT）の開通により、複数経路を選択可能な延長が増加。



※豊田JCT～草津JCT間スルー交通の経路分担
出典：ETC2.0プローブ情報
2019年3月18日～7月31日（平日平均）

時間短縮と時間信頼性向上

○三重県庁⇒愛知県庁の平均所要時間が16分短縮。
○所要時間のばらつきが減少し、時間信頼性も向上。



出典：ETC2.0プローブ情報
開通前：2018年10月～11月（平日）、開通後：2019年10月～11月（平日）
ピーク時間帯の17～19時を対象